

# 岩盤ボーリング柱状図

調 査 名 「電子」 「災害対応No. 42」 井原地区 平成30年7月豪雨災害に伴う  
応急対策業務

事 業 ・ 工 事 名 \_\_\_\_\_

調 査 目 的 及 び 調 査 対 象 砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor-B-2	調査位置	広島市安佐北区白木町井原 神ノ倉山	北 緯	34° 35' 13.8747"
発 注 機 関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成30年 8月24日～平成30年 8月30日	東 経	132° 41' 27.0900"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ ー ー 定 者		ボーリング責任者			
孔 口 標 高	442.07m	角 度		方 向	
地 盤 勾 配	鉛 直 90°	使 用 機 種	東邦地下工機D1-B48型	コ ー ー 定 者	
試 錐 機	ヤンマーディゼルNFD-13	ポン プ	東邦地下工機BG-3C		
エ ン ジ ン					
総 掘 進 長	24.00m				

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	硬 質 の 程 度	割 断 形 状	岩 級 区 分	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 c m R Q D [ % ]	記 事	ル ジ オ ン 試 験		原 位 試 験	室 内 試 験	削 孔 状 況	排 水 量 (L/min)									
													ル ジ オ ン 値	ル ジ オ ン 値													
1	440.77	1.30	砂混り粘土	茶								GL-0.00~1.30mは、表土。種物根を含む。また、φ=2~30mm程度の角礫を混入する。					350	0.3	60	0.0	0.0						
2	440.37	1.70	粘土混り砂									GL-1.30~1.70mは、崖錐堆積物。全体的に粘性分を含む。GL-1.30~6.00mまで、粘土混り砂または礫混り砂。礫はφ=2~50mm程度の角礫。					100	0.0	120	0.2	0.0						
3	438.87	2.20	礫混り砂														8/24										
4	436.77	3.30	粘土混り砂	茶褐								GL-4.00m付近にて漏水を確認した。						80	0.0	120	0.2	0.0					
5			礫混り砂															80	0.0	120	0.2	0.0					
6	436.07	6.00	玉石	灰								GL-6.00~6.50mまで、5~20cm程度の玉石が連なる。GL-6.50~7.70mまで、φ=2~50mm程度の角礫を多数混入する。						8/25									
7	435.57	6.50	礫混り砂	茶褐灰														8/25									
8	434.37	7.70										GL-7.70m以深は、基礎層。GL-7.70~20.00mまで、DL~DM級(一部でDH級)の風化斑レイ岩。風化が非常に激しく、コアは砂状を呈し、指圧で容易に変形する。						100	0.0	120	0.2	0.0					
9																		8/26									
10																		100	0.0	120	0.2	0.0					
11																		8/27									
12																		100	0.0	120	0.2	0.0					
13																		80	0.1	120	0.3	0.0					
14					灰褐							GL-13.10~13.40mまで、コアは比較的新鮮かつ硬質となる。GL-13.40~13.60m間で、土砂を挟む。GL-13.60~14.50mまで、コアは岩片状~砂状を呈する。GL-14.00m付近より全漏水を確認した。GL-14.50~15.40mまで、コアは軟質化し、砂状~シルト状にて採取される。GL-15.40mがすべり面であることが想定される。GL-15.40~20.00mまで、コアは岩片状~砂状にて採取される。											400	0.1	120	0.0	0.0
15																		66									
16																		400	0.1	120	0.0	0.0					
17																		100	0.2	120	0.3	0.0					
18																		110	0.2	150	0.3	0.0					
19																		110	0.2	150	0.3	0.0					
20																		8/29									
21												GL-20.00~24.00mまで、DH~GL級の斑レイ岩。全体的に角礫が多く、コアは短柱状~礫状にて採取される。						80	0.2	100	0.3	0.0					
22																		80	0.2	100	0.3	0.0					
23																		80	0.2	100	0.3	0.0					
24	418.07	24.00										GL-22.20~22.80mまで、コアは比較的新鮮かつ硬質となる。						8/30									

